【施策番号　Ⅲ－３－20】

分　　野	戦　　略	九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展
品格あるくまもと	重点的に取り組む施　策	幹線道路ネットワークの整備

１ 施策の概要（ＰＬＡＮ）

(1)背景

●本県では自動車交通に依存する割合が高い状況にもかかわらず、道路整備水準は全国平均や九州平均と比較して遅れている。

●横軸となる九州横断自動車道延岡線や地域高規格道路の整備が遅れており、九州における本県の拠点性を高めるための横軸の幹線道路の整備が十分ではない。

(2)めざす姿

●「九州新幹線全線開業効果の最大化」に向け、九州の中心として、熊本の拠点性向上及び県土の基盤の充実をめざす。

(3)解決すべき課題

●熊本の拠点性を高めるため、九州の横軸を形成する幹線道路や交流拠点間のアクセスを向上させる道路網の整備。

●観光資源や地域産業の魅力を引き出すため、観光立県の実現を促進する道路や産業活動を支える基盤となる道路の整備。

(4)取組みの概要

【道路ネットワークの整備・管理（幹線道路）】

・九州の中心に位置するという地理的優位性を最大限に生かし、九州における拠点性を高めるとともに、九州新幹線の開業効果を県下全体に波及させるための基盤づくりを推進する。

・特に大分、宮崎との交流連携軸を見据え、横軸となる九州横断自動車道延岡線、中九州横断道路、国道57号拡幅、地域の特性を活かす熊本天草幹線道路、また、縦軸となる南九州西回り自動車道等の幹線道路ネットワークづくりに取り組む。

２ 施策の主な構成事業（ＤＯ）

取組みの概要	担当課	平成２１年度事業／決算（千円）		平成２２年度事業／当初予算（千円）	
道路ネットワークの整備・管理（幹線道路）	道路整備課	高規格幹線道路整備事業	2,826,710	高規格幹線道路整備事業	1,475,350
		熊本環状道路整備事業	2,804,896	熊本環状道路整備事業	3,186,666
		中九州幹線道路整備事業	448,330	中九州幹線道路整備事業	355,334
		熊本天草幹線道路整備事業	2,005,628	熊本天草幹線道路整備事業	1,492,666

３ 施策の評価（ＣＨＥＣＫ）

(1)指標の推移

	指標（単位）	策定時	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３	目標値	目標値の説明
1	幹線道路の整備進捗率（供用率）（%）	35 (H19) 〈達成度〉	35 (H20) 79.5%	43 (H21) 97.7%		44	九州横断自動車道延岡線、国道57号（立野～瀬田間）拡幅、熊本天草幹線道路及び南九州西回り自動車道の供用率
2							
3							

(2)指標の分析

・高規格幹線道路である南九州西回り自動車道において、平成21年4月29日に田浦IC～芦北IC間の8.0ｋｍが供用開始されたことにより、供用率は35%から43%へと着実に上昇。

(3)平成２１年度の取組みの主な成果

【道路ネットワークの整備・管理（幹線道路）】

・高規格幹線道路である南九州西回り自動車道において、4月29日に田浦ＩＣ～芦北ＩＣ間の8.0ｋｍが供用開始した。

・熊本天草幹線道路のうち国の直轄事業区間である宇土道路が、平成21年度より事業化。

・引き続き高規格幹線道路整備事業を含む４事業においては、調査、設計、用地買収及び道路改良工事等を促進し、事業の進捗を図った。

(4)平成２２年度の取組み方針、取組み状況

【道路ネットワークの整備・管理（幹線道路）】

・九州新幹線全線開業効果の最大化に向け、九州の中心として、熊本の拠点性向上を図るために、引き続き、調査、設計、用地買収及び道路改良工事等の事業促進を図る。

・国の直轄事業である国道３号植木バイパスの2.3ｋｍ及び国道57号立野拡幅3.6ｋｍについては、平成22年度供用に向けて事業促進中。

(5)施策を推進する上での課題

・目標達成に向けて、一部用地買収難航箇所がある。

４ 今後の方向性（ＡＣＴＩＯＮ）

次年度に向けた施策展開の方向性

・九州の中心に位置する優位性を最大限に活かし、九州における拠点性を高めるとともに、九州新幹線開業効果の最大化を図るために、骨格となる幹線道路の整備を促進する。本県の最重要課題である横軸の道路整備については、「九州のへそ・熊本」実現のため、横軸の要となる熊本西環状道路と熊本天草幹線道路大矢野バイパスを重点的に取り組む。また、国の直轄事業である九州横断自動車道延岡線や国道57号4車化等についても重点的に取り組むよう求めていくとともに、中九州横断道路については整備区間指定に向けて調査促進を求めていく。